

1. 小学校特別活動における指導事例

児童会活動 「児童会のテーマを決めよう」

1. 児童会活動で育成を目指す資質・能力

- 児童会やその中に置かれる委員会などの異年齢により構成される自治的組織における活動の意義について理解するとともに、活動するために必要なことを理解したり行動の仕方を身に付けたりすることができるようにする。
- 児童会において、学校生活の充実と向上を図るための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりすることができるようにする。
- 自治的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と互いのよさを生かして協働し、楽しく豊かな学校生活をつくろうとする態度を養う。

2. 児童会活動の評価規準（例）

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
楽しく豊かな学校生活をつくる児童会活動の意義について理解するとともに、活動の計画や運営の方法、異年齢集団による交流の仕方などを身に付けている。	児童会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたり、人間関係をよりよく形成したりして主体的に実践している。	楽しく豊かな学校生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、多様な他者と互いのよさを生かして協働し、児童会の活動に積極的に取り組もうとしている。

3. 児童会活動における「主権者教育の充実」に向けた指導のポイント

- 学校全体の生活の充実と向上を図るための課題を主体的に見いだすことができるようにする。
- 学年や学級が異なる児童と、課題の解決に向けて話し合い、互いの考えのよさや多様な考えを認め合いながら合意形成できるようにする。
- 決めたことについて、学年や学級が異なる児童と共に協力して取り組み、一人一人が自己の役割や責任を果たすことができるようにする。

児童にとって身近な社会である学校における生活の充実と向上を図ることを目指す児童会活動は、主権者としての意識を^{かん}涵養する上で大変重要である。児童会活動で育成する資質・能力は、中学校、高等学校における生徒会活動において、さらに学校卒業後は、地域社会の自治的な活動の中で生かされ、育まれていくものである。

これらのことから、主体的に学校生活づくりに参画する児童会活動の充実を図ることで、主権者として必要な資質・能力の向上につながっていくと考えられる。

※本指導資料は、特に主権者教育の充実を図るための指導のポイントを□で示している。

4. 指導の実際

(1) 児童会活動について

児童会活動では、高学年の児童を中心として、児童が主体的に組織をつくり、学校生活の課題を見だし、解決方法を話し合って実践する。多様な意見が出される中、学校生活の充実と向上を図るためには「どれがよりよいものなのか」を考えて、みんなが納得する解決方法を決めて、協力して実践していく。低・中学年の児童も、児童会活動の実践を通して「自分たちも学校の一員であり、自分たちでよりよい学校をつくる」という意識を高めていく。このことは、将来、多様な他者と協働しながら、地域社会における課題を自分のこととして捉え、主体的にその解決に関わり、社会に積極的に関わっていくために必要な資質・能力の育成につながる。

また、児童会活動の活動形態の一つである代表委員会活動は、主として高学年の代表児童が参加して、学校全体の生活を共に楽しく豊かにするための集団生活や人間関係などの諸問題について話し合い、解決を図るための活動である。そして、各学級での話し合いを生かすなど全校児童の意向を反映し、自発的、自治的に行われる活動である。このような活動を通して、主権者として必要な資質・能力である、他者と連携・協働しながら、地域の課題解決を社会の構成員の一人として主体的に担う力につながっていく。

ここでは、児童会活動の一連の学習過程を通して、主権者教育に重要な視点を示した活動例を紹介する。

(2) 代表委員会「児童会のテーマを決めよう」の一連の活動

学習過程	活動の主体	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
問題の発見、議題などの選定	児童会計画委員会	① 学校全体の生活の充実と向上を図るための課題を主体的に見いだす。 ・議題ポスト等を活用したり、児童会計画委員会や各委員会で話し合ったりして、学校全体の生活を共に豊かにするための課題を見いだす。 ② 児童会計画委員会で活動の計画を立てる。 ③ 「児童会のテーマを決めよう」について知らせる。 ・校内放送や児童会だより、代表委員会の掲示板などを利用して、全校の児童に議題を伝え、各学級や委員会で話し合って決めるよう周知する。	 【児童会計画委員会の様子】 ・児童会計画委員会を設置し、話し合いの計画や準備等を行い、円滑に運営できるようにする。	◎自分たちの学校生活に関心をもち、課題を発見し、みんなで解決策を話し合い実践していくといった活動が大切です。 ◎互いのよさを生かして協働し、活動に積極的に取り組もうとしている。 【主体的態度】〈観察〉
話し合い・合意形成	各学級	④ 各学級で児童会のテーマに入れたいキーワード（目指す学校像）などを考える。  【児童会のテーマについての話し合いの様子】	・児童会のテーマについて、学級会等で話し合い、理想の学校生活をキーワードにして代表委員会にもち寄ることで、児童会の一員としての参画意識を高めることができるようにする。	◎目指す学校像やどのような児童会活動にしたいかについて、根拠を明確にしながら発言したり、友達の意見と比べて聞いたりしている。 【思考・判断・表現】 〈発言・観察〉

話し合い・合意形成	代表委員会	⑤ 代表委員会を行い、児童会のテーマを決める。 児童会計画委員会の司会マニュアルを学級会の司会マニュアルと同じように作成し、それを見ながら司会や記録になった児童が役割を果たせるようにする。	学級活動との関連を図ることで、効果的な指導となり、児童会活動の活性化につながる。 - 代表委員会では、学級代表が参加していない低学年の児童の意見が反映できるようにしたり、低学年の学級に、活動内容を伝えたりすることが大切である。 - 例えば、4・5・6年の1組グループというように、異学年で話し合いができるよう座席を工夫する。	課題の解決に向けて、めあてを共有し、異学年で協力しながら話し合うことで、協働する姿を育んでいきます。		〔代表委員会の様子〕																																																														
			代表委員会は、児童会として学校生活の充実と向上を図るために、学校生活に関する諸問題について話し合い、その解決を目指した活動を行います。この経験が、社会の形成者として課題解決に向け考え行動しようとする態度を育みます。																																																																	
話し合い・合意形成	代表委員会	決まったこと 毎日登校が楽しみ！ 仲よく協力しあう 笑顔いっぱい〇〇小学校	話し合うこと② どんなテーマにするか（キーワードを選ぶ） <table><tr><td>一年一組</td><td>えがお</td><td>なかよく</td><td>一年二組</td><td>げんきいっぱい</td></tr><tr><td>二年一組</td><td>よく遊びよく遊ぶ</td><td></td><td>二年二組</td><td>明るい楽しい</td></tr><tr><td>三年一組</td><td>いつも一生懸命！</td><td></td><td>三年二組</td><td>全力 頑張る</td></tr><tr><td>四年一組</td><td>あいさつ上手</td><td></td><td>四年二組</td><td>笑顔 あいさつ</td></tr><tr><td>五年一組</td><td>みんなが主役</td><td></td><td>五年二組</td><td>みんな仲良し</td></tr><tr><td>六年一組</td><td>笑顔で楽しい</td><td></td><td>六年二組</td><td>思いやり</td></tr></table>	一年一組	えがお	なかよく	一年二組	げんきいっぱい	二年一組	よく遊びよく遊ぶ		二年二組	明るい楽しい	三年一組	いつも一生懸命！		三年二組	全力 頑張る	四年一組	あいさつ上手		四年二組	笑顔 あいさつ	五年一組	みんなが主役		五年二組	みんな仲良し	六年一組	笑顔で楽しい		六年二組	思いやり	話し合うこと① どんな学校にしたいか（キーワードを出し合う） <table><tr><td>一年一組</td><td>えがお</td><td>なかよく</td><td>一年二組</td><td>げんきいっぱい</td></tr><tr><td>二年一組</td><td>よく遊びよく遊ぶ</td><td></td><td>二年二組</td><td>明るい楽しい</td></tr><tr><td>三年一組</td><td>いつも一生懸命！</td><td></td><td>三年二組</td><td>全力 頑張る</td></tr><tr><td>四年一組</td><td>あいさつ上手</td><td></td><td>四年二組</td><td>笑顔 あいさつ</td></tr><tr><td>五年一組</td><td>みんなが主役</td><td></td><td>五年二組</td><td>みんな仲良し</td></tr><tr><td>六年一組</td><td>笑顔で楽しい</td><td></td><td>六年二組</td><td>思いやり</td></tr></table>	一年一組	えがお	なかよく	一年二組	げんきいっぱい	二年一組	よく遊びよく遊ぶ		二年二組	明るい楽しい	三年一組	いつも一生懸命！		三年二組	全力 頑張る	四年一組	あいさつ上手		四年二組	笑顔 あいさつ	五年一組	みんなが主役		五年二組	みんな仲良し	六年一組	笑顔で楽しい		六年二組	思いやり	新しい一年が始まりました。そこで、どんな学校にしたいか話し合い、みんなの意見をもとにテーマを決めたいです。そして、そのテーマに向けて児童会活動に取り組み、〇〇子が目指す学校をつくっていききたいからです。 〇っ子が目指す学校をつくっていききたいからです。	議題 「〇〇小児童会のテーマをきめよう」 第一回 代表委員会 提案理由		〔代表委員会の振り返り〕
	一年一組	えがお	なかよく	一年二組	げんきいっぱい																																																															
二年一組	よく遊びよく遊ぶ		二年二組	明るい楽しい																																																																
三年一組	いつも一生懸命！		三年二組	全力 頑張る																																																																
四年一組	あいさつ上手		四年二組	笑顔 あいさつ																																																																
五年一組	みんなが主役		五年二組	みんな仲良し																																																																
六年一組	笑顔で楽しい		六年二組	思いやり																																																																
一年一組	えがお	なかよく	一年二組	げんきいっぱい																																																																
二年一組	よく遊びよく遊ぶ		二年二組	明るい楽しい																																																																
三年一組	いつも一生懸命！		三年二組	全力 頑張る																																																																
四年一組	あいさつ上手		四年二組	笑顔 あいさつ																																																																
五年一組	みんなが主役		五年二組	みんな仲良し																																																																
六年一組	笑顔で楽しい		六年二組	思いやり																																																																
決めたことの実践	児童会計画委員会	⑥ 決定した児童会のテーマについて、全校児童に知らせる。 - 代表委員会における話し合いの概要や決まったことを全校児童に伝える。 - 活動の目標や過程、成果などについて振り返り、次の活動に生かしていく。	児童会テーマが決まるまでの話し合いの様子や代表委員会の様子を写真等で知らせるなどの取組を通して、その過程を可視化することができ、全校児童の総意をもとに決めたことを理解できるようにする。																																																																	

5. 児童会のテーマの実現に向けた活動の実践

(1) 児童会のテーマに向けた各委員会・各学級の一連の活動の流れ

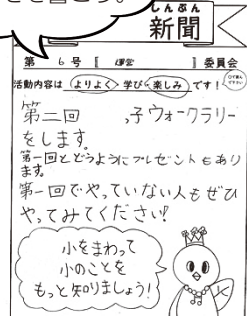
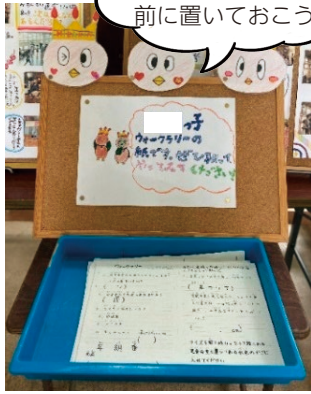
児童会のテーマを決めた後は、そのテーマに向けた取組を各委員会並びに各学級で考え、実践する活動等が考えられる。



(2) 集会委員会「学校ウォークラリーをしよう」の実践

よりよい社会の実現を視野に、国家・社会の形成に主体的に参画しようとする態度を育む上で、自分たちの課題解決に向けた活動によって、自らの集団（社会）をよりよいものにすることができた、という実感を重ねることが大変重要となる。児童自身によってつくられ、児童が生活している社会空間である学校を課題解決の場にする事で、学校をよりよくしていく経験が重要である。また、一連の活動の成果や課題等を振り返ることで、取り組んだ意義をより実感できる。

具体的には、以下のような活動が考えられる。児童会テーマの実現に向け、集会委員会が、自分たちにできることを考え、創意工夫しながら取り組む一連の活動の様子を紹介する。

① 児童会のテーマに向けた取組を考える。 集会ではなくても、みんなが楽しむことができるような活動はできないかな？ 	② 「学校ウォークラリー」を企画する。 楽しみながら学校のことをもっと知ってもらおう。 ウォークラリー Q&A 1 校舎裏にある古いお家の名前のついてる石の壁はいくつ？ (8) 2 校舎裏の古いお家の数は何個？ (24) 3 道のうち、2個に1個は？ ア 坂道 イ PTA道 ウ ランチルーム 正解 (ウ) 4 校舎裏の古いお家の数は、何年プロパティ？ (3) 5 校舎裏の古いお家の入り、キヤウの壁の描かれている壁の色の1か所は赤い。青い壁は何センチ (cm) でしょうか？ (153) クイズを解き終わった後にある児童会室に置いてあるお家の名前に記入してください。	③ 事後の活動を考える。 参加賞として、学校キャラクターのしおりを作ってプレゼントしよう。 
④ 「学校ウォークラリー」について周知する。 放送したり、学級をまわったりしてお知らせしよう。 「学校ウォークラリー」のお知らせを書こう。 	⑤ 「学校ウォークラリー」をしよう。 いつでも取れるように掲示板の前に置いておこう。 	⑥ 「学校ウォークラリー」の解答と参加賞を渡す。 「学校ウォークラリー」参加してくれてありがとうございました。しおり使ってください。 
⑦ 活動を振り返る。 活動を振り返る場面を設けることで、児童会のテーマの実現に向け、自分たちが考えた活動に取り組み、学校全体に働きかけ、楽しんでもらえた、やってよかった、という実感をもたせることができます。 学校ウォークラリーでは、ひばりんのしおりの景品を作るのが大変でした。だけど低学年の人にとっても人気があって、一年生とかは、なかなか3階とかに来る機会がないけど、小の色々な所をまわって、小のことを知ってもらったのでうれしかったです。紙に「楽しかったのでもたやっってください！」とか、感想を書いてくれたのがとってもうれしくて、第二弾もやりたいという気持ちになりました。		

(3) 代表委員会の様々な議題の例

主権者に求められる力を育むことを意識するとき、学校の生活上における課題解決を図るために代表委員会で話し合っ合意形成し、全校児童に知らせ、取り組んでいくような活動が考えられる。例えば、よりよい挨拶の仕方や安全な過ごし方（廊下歩行、雨の日の過ごし方）、夏休みの生活の約束などの議題が考えられる。

① 学校全体の生活の充実と向上を図るための課題を見いだす。

「生活委員会があいさつ運動をしていて、元気な挨拶、気持ちのよい挨拶を返してくれる子が少ない。よりよい挨拶ができるようになってほしい。」

② 児童会計画委員会で活動の計画を立てる。

議題	理由	めあて	決まってること	話し合うこと	話し合う理由
よりよいあいさつを広げよう	生活委員会があいさつ運動を取り組んでいますが、気持ちのよいあいさつを返してくれる子が少ないです。そこで、みんなのあいさつがよりよくなり、気持ちのよいあいさつが広がるような未来を話し合っ合意形成し、取り組みたいからです。	全学年が取り組むことができ、よりよいあいさつが広がるようなあいさつ運動を考えよう！	① みんなで取り組む。 ② よりよいあいさつ運動の期間は7月。	何をやるか。	どんな準備や係分担が必要か。

③ 代表委員会で話し合う。

議題「よりよいあいさつを広げよう」挨拶上手になるために何ができるか話し合う。

④ 決まったことに向けて取り組む。

挨拶する場所を「挨拶スポット」として決める。あいさつの仕方やイラストを書いたポスターを作成し、教室の前や昇降口などの床に貼る。

⑤ 実践する。

「あいさつスポット」について全校児童に知らせ取り組む。

⑥ 振り返る。

提案した生活委員会や児童会計画委員会、各学級などのそれぞれの立場で振り返り、よりよい挨拶についての成果や課題を振り返る。それを新聞や放送等で周知し、学校全体で共有することができるようにし、次の活動に生かしていくことができるようにする。

6. 環境の工夫

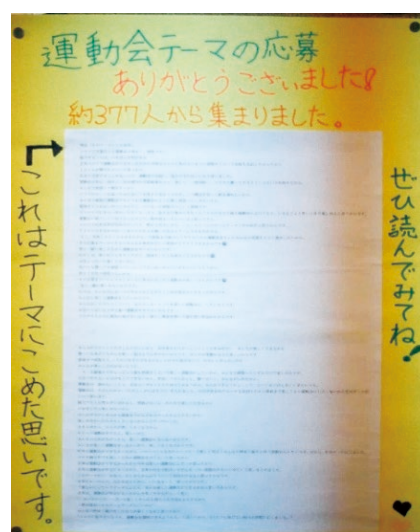
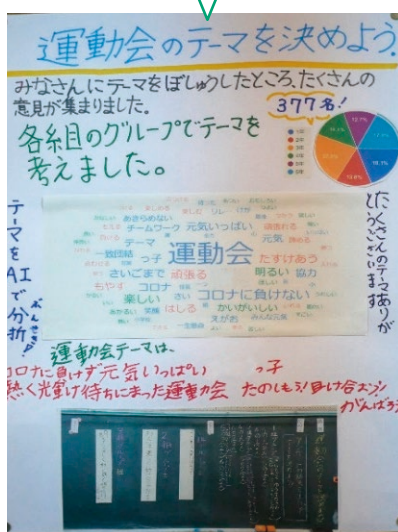
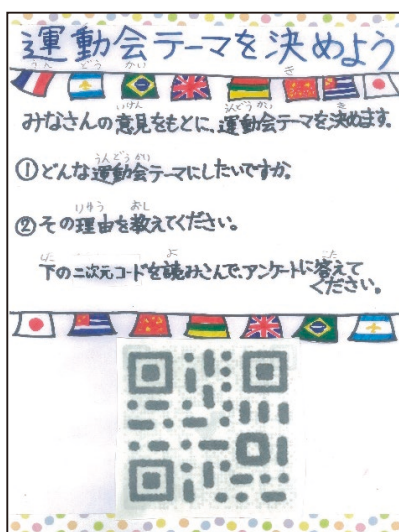
次のような環境を工夫することで、児童会活動に関する情報を発信したり、児童の意見を収集したりすることができ、創意工夫しながら自分たちの力で学校生活をよりよいものにしようと取り組むことにつながっていくと考えられる。

委員会活動を紹介するコーナー

委員会活動を紹介するコーナーを設け、新聞等を掲示することで、活動の様子を可視化したり、情報を発信したりすることができます。各委員会の活動の様子を知ること、委員会活動の新しいアイデアや工夫された活動が生まれたり、低・中学年が高学年への憧れを抱いたりすることにつながります。



ICT 端末を活用することも考えられます。二次元コードを読み込んで、お知らせを周知したり、アンケート集計ソフトを利用し簡単に集計したりすることができます。児童一人一人が自分の意見を発したり、一人一人の意見を聞いて生かそうとしたりする経験は、社会をよりよくしようとする主権者としての必要な力になります。身近な生活で使用されていることから、社会生活に興味をもつことにつながっていきます。



学級活動(1)において、生活上の諸問題について積極的に話し合い、解決に向け取り組む経験を通して育まれた資質・能力は、代表委員会や委員会活動における話し合いや日常の取組、児童会集会活動などに生かすことができる。同時に、児童会活動で経験した多様な活動が学級生活にも生かされ、学級や学校の生活をより一層充実したものにしていけるのである。

8. 資料・ワークシート等

委員会活動カード

委員会	
委員会担当 担 任	



小学校

年 組	
年 組	

委員会活動の心得 児童会はみんなのもの

児童会活動の中で、校内の仕事を担当して活動を進めるのが各種委員会活動です。児童会とはみなみのものですから、委員会活動もみんなでも相談し、計画し、工夫しながら実行しています。

先生方は、皆さんが活動していく中で、やり方が分からなかったり、問題の解決に困ったりしたときなど相談のついでに、指導したりする役目です。

ですから活動の主人公は、みなさん一人一人なのです。全校の仲間と役立つことをとし、取り入れられ、合って家と学校にしていきたいと思います。

委員会活動の実践計画を立てよう

※委員会活動は学校を押ししり向上させるのに役立つ内容を考えて実行します。

①仕事や活動をしやすくするための工夫をする。(役員を選ぶ・班をつくるなど)

②活動のめあてを決める。

③活動内容を決める。

・常時活動：毎日・年間を通ず活動の内容
たれが・どこで・何を・いつ・何・昼・放課後」するかを明確にする。

・定時活動：毎月1回
委員会と学校の行事に応じてする活動の内容

はじめ	・ 出欠確認 ・ 今日の活動の確かめと仕事分担
活動中	・ 仕事は責任を持って最後まで行う。 ・ 仕事は自分たちで工夫し、相談してすすめる。 ・ 担当の先生との打ち合わせをしっかり行う。
終わり	・ 今日の活動を反省したり、次回の計画を話し合う。 ・ 委員会の活動記録を書き、担当の先生のサインをもらう。 ・ 使った道具の後片付けをする。

※児童朝会・4年生への委員会紹介での発表も計画に入れましょう。

委員会活動カードの例（裏）

月/日	どんな活動をしたか	担任 ◎O.M	委員 ◎サイン	学 生 ◎サイン
1 /				
2 /				
3 /				
4 /				
5 /				
6 /				
7 /				
8 /				
9 /				
10 /				
11 /				
12 /				
13 /				
14 /				
15 /				

活動のめあて

※ 時 間 内 容

学 期	活 動 計 画	活 動 反 省
一 学 期		
二 学 期		

委員会新聞の例（左：結成当初 右：2回目以降）

いいんかいしんぶん
委員会新聞

第 1 号 こんかい ばんどうしや 今回の担当者：

（ ）委員会の活動テーマを決めました！

委員会テーマ

よりよく・学び・楽しみ のある学校

にするために、

☆ いいんかい 委員会できりくみたいこと！

☆ （ ）小のみんなに きょうりよく 協力してほしいこと！

しんぶん
新聞

第 号 [] 委員会

活動内容は よりよく・学び・楽しみ です！

代表委員会の計画カード

話し合う こと②	話し合う こと①	決ま るこ と	めあ て	理 由	提 案 ていあん りゆう	議 題 ぎだい	第 回 代 表 委 員 会